

# 暑中 お見舞い申し上げます



大崎町長 東 靖 弘

厳しい暑さが続いておりますが、町民の皆様方にはお元気で過ごしてのこととお喜び申し上げます。

本年は、梅雨の期間中の雨も少なく、幸いなことに、水稲や施設園芸など農作物等の生育は順調に推移しており、ひと安心しているところでございます。

しかしながら、災害のシーズンはまだこれからですので、引き続き今後も災害対策を怠ることのないように、十分な注意をしていただきたいと思います。

## ■行財政改革の推進

従来の行財政改革は、財政赤字の削減や財政の健全化を目的とするものが多かったと思われま

す。本町の目指す改革は、健全財政を堅持しながら、町民の意向や地域の実情に即したサービスの提供、真の住民参加のまちづくり、誇りを持つて暮らせるまちづくりなど、他には見られない独自性と魅力を兼ね備えた『活力に満ちたまちづくり』を進めていくことだと捉えております。

昨年設置いたしました、町民の代表からなる『行政改革調査専門委員会』や職員で構成する『事務改善委員会』から出された答申の実現に取り組んでまいります。

## ■民間的経営手法の導入

昨年、菱田保育所の管理を社会福祉法人どんぐり福祉会に移管したことに引き続き、本年4月からは大崎保育所の管理を南光保育園に移管しました。

また、町立野方保育所が7月に落成いたしました。来年4月1日からはこの運営も民間に移管することになっております。近年、保育ニーズが多様化し、より柔軟な対応が求められていることに対するものです。

保育所に限らず、民間的経営手法を取り入れたほうが効率的と思われるものは、適当な関与を残しながら、民間への移管を進めてまいります。

## ■マスターズプロジェクト

高齢者が元気に生きがいを持つて快適に生活できる環境を作ることが大切です。医療や介護の予防措置のために、本年度も鹿屋体育大学と連携して、高齢者の筋力の維持・向上を図り、自立した生活の確保を支援する方策として、『マスターズプロジェクト推進事業』を進めてまいります。

## ■住民参加、共生・協働

町内各地域においては、それぞれの地域の文化や伝統に支えられた祭りのほかに夏祭りや運動会などがありますが、近年、地域住民の発案による新たな行事が育ちつつあります。

地域の特性や資源を活用した独自のイベントが企画され、その運営にも地域住民が積極的に関わりを持つことにより、共生・協働の精神が醸成されることはす

ばらしいことです。今後もこの気運が盛り上がり、町内のいたるところから町内外に向けて情報が発信されることを期待いたします。

少子高齢化をはじめとする多種多様な行政テーマに対して、行財政全般にわたる改革を進めながら、住民福祉の向上のための方策を、積極的に進めてまいります。

皆様には、くれぐれもご自愛くださるようお願いいたします。暑中の挨拶といたします。

平成17年 盛夏

大崎町長

他職員一同

